

建築人

2021
10

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.688





建築人

2021.10 No.688

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「LIGHT FALLING」2020年

第13回 建築人賞 建築人賞 受賞作品

設計：マニエラ建築設計事務所 大江一夫

施工：西友建設

撮影：喜多 章

北に箕面連山を望む細長い敷地に建つ専用住宅。吹抜けと大型トップライトにより、1階のLDKに光が降り注ぎ、内外で水面が繋がる水盤が揺らぎを壁天井に投射する。外部の緑と空の青を水面に写し込み屋内庭園の様に機能する。外壁はモルタル櫛引仕上げとし力強さを表現した。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「日本圧着端子製造 大阪技術センター別館 -Kahdeksankulmio-」

設計：Atelier KISHISHITA

施工：フリースタイル

「片流れの家」

設計：コンパス建築工房

施工：アール・ワン

「GEOMETRIC HOUSE」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：ヒロタ建設

8 動静レポート

9 Topics

10 インフォメーション・事業案内

14 記憶の建築

「ニューホープの家」1939年

吉村順三との最後の再会 / 松隈 洋

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪府堺市には、大阪湾に面して大浜公園があり、市民の憩いのエリアとなっている。この公園は、1879年(明治12年)に幕末期につくられた砲台跡地に海浜公園を開設したことが始まりだ。その後、景勝地の眺望を武器に観光料理旅館が相次いでつくられ、大阪市内からも多くの観光客が訪れ大いに賑わった。1903年(明治36年)には、大阪で内国勲業博覧会が開催され、ここは第2会場として巨大水槽を売りにした堺水族館が開設され人気を博した。その後も開発が続き、浴場を中心に食堂や劇場、遊技場などを備えたレジャー施設が開業し、この海水を利用した施設は人気を集めた。

しかし、レジャー施設などは室戸台風により壊滅的打撃を受けて、その後の1944年(昭和19年)解散した。戦後には海水浴場は復活したが、1958年(昭和33年)には堺泉北臨海工業地帯の造成のために閉鎖され、その賑わいの面影は消えてしまった。

しかし、70年代以降には大浜体育館や大浜公園相撲場、野球場、プールなどが開設され、市民が気軽に利用できるエリアに変貌を遂げた。

この可愛らしい写真は、堺旧港の突端に配された旧堺燈台で、1877年(明治10年)につくられた建造物である。日本で現存する最も古い木造洋式燈台として1972年(昭和47年)に国の史跡に指定された。

この燈台が、新型コロナウイルスとの戦いに疲れ果てた市民を和ませ、明るい未来を照らしてもらいたい。

建築人 No.688 2021年10月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二

委員長：荻窪伸彦(編集人代表)

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之

大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和3年10月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

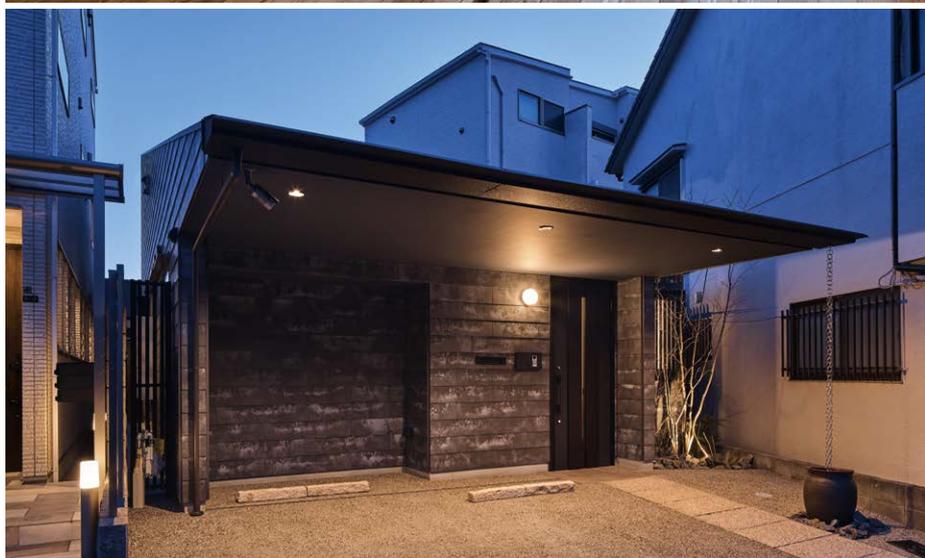
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



JR線駅前に建つ電子部品メーカーの研究試験施設である。旧建物での製品試験を継続しながらの建替計画であったため、路地(接道幅2m奥行き28m)奥での工事となった。大型重機の使用が不可能な状況から人力での施工が前提の小部材を用いた木造建築とし、また、今後の増築の有無が不確定な状況を考慮して、増殖可能性を孕んだ「八角形の連続体」とした。旧建物解体後の外構計画にも建物同様の八角形を用い多くを緑地とした。この緑地が今後の増築スペースとして確保されつつも、現状では雑然とした周辺環境に対しヴォイドとグリーンを提供することとなり、機能的であることや常識的であることを超えた企業自らの姿勢や想いを表象している。(岸下真理+岸下和代)

所在地：大阪市西淀川区
 用途：研究所
 竣工：(建築)2017.05
 (外構)2020.02
 構造規模：木造1階
 敷地面積：1,370.34㎡
 建築面積：266.34㎡
 延床面積：266.34㎡
 構造設計：満田衛資構造
 計画研究所
 設備設計：パルス設計
 写真：絹巻 豊



密集する住宅街の中で、自然材料にこだわり、四季を感じながら、老後をゆっくり楽しむための住まい。変形敷地に合わせて、大きな片流れ屋根のボリュームに寝室のキューブを入れ子状に挿入。片流れ屋根は駐車場に大きく持ち出してアプローチ屋根を兼ねる。室内では杉天井が玄関から吹き抜け階段、2階リビングへとつながり、セキュリティやプライバシーを守りながら、充分な採光と通風を確保。南庭ではデッキやテラスにより外部生活も楽しむことができる。木材は熊本県球磨地方の杉、桧を燻煙乾燥、プレカットのうえ、産地直送。外壁材は無垢のセメント素材。内壁は、鹿児島島のシラスを用いた中霧島壁。

所在地：大阪市城東区
用途：専用住宅
竣工：2021.02
構造規模：木造2階建
敷地面積：121.40㎡
建築面積：86.01㎡
延床面積：111.64㎡
写真：岡田大次郎



敷地は40坪であるが、限られた空間の中に和室・各居室・LDK・プレイルームを包含したRC造4階建ての計画である。

外壁は塗装と打放し、杉化粧型枠でRC造の力強い物質感を表現され正面ファサードは幾何学的な表情が街に奥行き感を与えている。

ダイニング・キッチンの上部は4階との繋がりを持たせ、広がりのある空間とし同時に水平垂直の壁面線の隙間からは街並みが顔を覗かせている。

各々のフロアが機能的に完結されつつ、3・4階の開放性は家族の集まり、豊かさを感じられる室内となり、日々の生活に潤いをもたらすだろう。

所在地：大阪市天王寺区
用途：専用住宅
竣工：2020.08
構造設計：うきょう建築構造事務所
構造規模：RC造
地上4階建
敷地面積：133.14㎡
建築面積：90.38㎡
延床面積：244.46㎡
写真：松村芳治

建築基準法 及び 同大阪府条例

質疑応答集

改訂第7版



▼内容構成

第1章 総則関係／第2章 単体規定／第3章 集団規定
第4章 雑則規定／付則 シックハウス／ 天空率／
大阪府建築基準法施行条例解説／
劇場等に関する技術基準解説／
建築基準法の「その他これらに類するもの」の扱い ほか

▼体裁 A4版 207頁

▼定価(税込) 発行団体会員：4,000円

— 一般：4,500円

9年ぶりの改訂

大阪府内建築行政連絡協議会監修
法令の各条項についてQ&A形式で
解説した建築申請の実務書です。

発行／(公社)大阪府建築士会

(一社)大阪府建築士事務所協会

会長動静

- 8/26 四條畷市長面談
内山鑑定事務所協議
建築材料・住宅設備総合展2021表彰式
- 8/30 東京建築士会 元会長中村氏協議
- 8/31 門真市長面談
大阪市都市計画局長面談
- 9/ 3 八尾市長面談
- 9/10 大阪都市景観建築賞審査会
運営委員会
- 9/14 大阪府収用委員会
- 9/15 理事会・正副会長会議
- 9/16 柏原市長面談
- 9/17 京都府建築士会 高田会長面談
- 9/18 兵庫県建築士会 宮宅会長面談
「建築士が見た太陽の塔」講演会
近畿協議会青年部会大阪会議
- 9/21 和歌山県建築士会 池内会長面談
- 9/22 大阪府収用委員会
奈良県建築士会 米村会長面談
- 9/24 東大阪市長面談
日本建築士会連合会理事会



左から仙入部門長、大松桂右八尾市長、岡本会長、上田副会長



左から松井久尚柏原市副市長、富宅正浩柏原市長、岡本会長、上田副会長、竹田理事



左から市川建築士、市川委員、岡本会長、野田義和東大阪市長、上田副会長

会長による府内市町村長との面談



左から濱田副会長、東修平四條畷市長、岡本会長、田中部門長



左から濱田副会長、岡本会長、宮本一孝門真市長、三原淳子門真市副市長



左から角田悟史大阪市都市計画局長、岡本会長、濱田副会長

9 月度 理事会報告

(1) 入退会 (人)

	8月	入会	退会等
正会員	2,427	2	3
準会員	38	0	0
特準会員	28	0	0
賛助会員	139	0	0
計	2,632	2	3

(2) 会計報告 (円)

	8月計	累計
収入	4,621,449	70,991,417
支出	9,922,804	49,964,828
差引	△ 5,301,355	21,026,589

上表の入退会と会計報告を承認しました。

(3) 第 65 回建築コンクール審査員

建築表彰部門から、審査委員長に長坂大氏（京都工織大）、委員に植甚一氏（大阪府）、中嶋節子氏（京都大）、荻原廣高氏（神戸芸工大）、満田衛資氏（京都工織大）の推薦があり、これを承認しました。

(4) クラウドファンディング企画

社会貢献部門による「地域貢献活動助成制度」の持続資金の確保並びに市民が応援するまちづくりの仕組みづくりのために、本会は助成活動団体と活動内容を精査し寄附者が信頼して支援できる体制を整える。低額寄附でも支援者数を多く確保し、初回を成功させて持続可能なクラウドファンディング事業を目指します。

(5) 本会の IT 化の促進

IT 促進委員会からの動画配信の技術的手法を確立するための課題や方策の提案及び各部門における配信の必要性の判断や配信のための具体的な人材育成等を検討することの重要性の提言を踏まえて、現状に必要な最低限の機材等の購入を承認しました。

(6) 70 周年記念事業等の進捗

来年の定時総会記念講演は、2021 年日本建築学会大賞を受賞された香山壽夫氏に承諾いただいたこと、記念事業は二部構成で、在宅福祉は二井夫妻・寺地氏、ウォーターフロントは陣内氏・藤本氏・高原氏に承諾いただき、今後も行政関係者等に依頼を予定していることを報告しました。

(7) 栄誉会員表彰に賛助会員の追設

70 周年を迎えるにあたり、来年度の定時総会から栄誉会員として本会在籍 35 年の賛助会員を表彰し、感謝の意を表すことを承認しました。

二級建築士設計製図試験を実施

9 月 12 日、全国一斉に二級建築士設計製図試験が「歯科診療所併用住宅（鉄筋コンクリート造）」の課題で実施されました。大阪では本会が運営を担当し、関西大学千里山キャンパスにおいて、今年学科を合格した 606 名と製図からの受験者 292 名の合計 898 名が受験されました。全国の受験者数は 11,450 名で、昨年に比べて 154 名の増加、大阪では 65 名減少しました。

なお、一級・木造建築士設計製図試験は 10 月 10 日に大阪経済大学において、一級が「集合住宅」、木造が「専用住宅（木造 2 階建て）」の課題で実施します。

令和3年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座をスタートして

第1回 日程：令和3年8月28日(土) 第2回 日程：令和3年9月4日(土)
会場：綿業会館 会場：奥野家住宅(豊中市)
今年度受講者：25名

ヘリテージマネージャー(以下、HM)とは、地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保全・活用して地域づくりに活かす能力を持つ人材のことです。本会では、歴史的建造物の保全・活用に関わるHMを育成し、地域文化活性化の一翼を担う人材として活躍してもらうことにより、誇りの持てる地域づくりへの貢献をめざしています。

その専門家を育成する「大阪府HM育成講座」を2013年度から、文化庁の補助を得て、大阪府教育庁文化財保護課と大阪府登録文化財所有者の会の協力のもとに実施しております。

今年度で第9期となる大阪府HM育成講座が、8月28日にスタートし、第2回講座も9月4日に無事終了しました(第3回講座は9月18日)。おおまかな講座内容は、ヘリテージマネジメント、関係法令、保存と活用、歴史、

構造、景観、防災、登録文化財、実測調査、活用提案などの講義と実習から成り立っています。

第1回目は綿業会館にて、①オリエンテーション、②歴史的建造物の保存活用と文化財保護法、③大阪府内の文化財、④登録文化財とヘリテージマネジメントについての講義がありました(緊急事態宣言中のため、②は文化庁からのオンライン講義)。第2回目は豊中市の奥野家住宅にて、①改修・再生のプロセスと考え方、②歴史的建造物の保存と活用の提案に関する講義でした。

厳密に考えれば「保存」と「活用」は相反する行為(人が関わり何らかの用途に活用する場合は「保全」と言うべき)ですが、実際の改修・再生では、保存と活用を成立させるためのデザインが必要となります。つまり何を保存するか、活用といかに両立させるかが問題

阪田晴宏(ヘリテージ委員会委員)



になります。

そして、保存すべきは「モノ」だけではありません。残したい「コト」もあるはずです。さらに、まちなみ景観への配慮も必須ですし、あるいはまた、残したい歴史的建造物等が、必ずしも文化財的価値では測れない場合もあり得ます。

地域や歴史、人々により、さまざまなケースがあり、まさにHMの力が試されるところです。



第2回講座(奥野家住宅)

建築士が見た太陽の塔

日程：令和3年9月18日(土)
会場：エル・おおさか
参加者：49名

9月18日エル・おおさかにて「建築士が見た太陽の塔」講演会が開催されました。

1970年、EXPO'70のお祭り広場に、丹下健三先生デザインの大屋根と共に岡本太郎氏のデザインによる太陽の塔が仮設建築物として建設され、万博終了後一時は取り壊しも考えられましたが1972年工作物として再申請、1975年に保存が決定、2008年「太陽の塔再生事業」がスタート、2018年にリニューアルオープン、建築物として内部公開され、2020年には国の登録文化財に指定されました。

万博終了後48年間、内部公開されることのなかった「工作物としての太陽の塔」を「建築物としての太陽の塔」として内部観覧できるように改修工事するという難解なプロセスが必要であるプロジェクトを成功させ、今回、発注者である大阪府住宅まちづくり部公共建築室一般建築課の佐藤健哉様、設計者

の株式会社昭和設計(元所員)の久家一哲様(現在、長崎に居住され、コロナ禍の開催ということもありWebによるオンラインで登壇。)工事施工者の株式会社大林組の垣内博様の三者から当時のお話を伺える講演会でした。

発注者である大阪府の佐藤様からは、万博レガシー復活、「大阪城」「通天閣」と並ぶ大阪のシンボル「太陽の塔」再生事業としてスタートした経緯、又「地底の太陽」など内部展示物の復元、修復についての説明をいただき、設計者の立場として久家様からは建築確認申請の実務にあたり、法的解釈の難しさ、既存の芸術性の保存、新たなファサードの構成、建築物としての階数の判断や、階段、防火区画、排煙、耐震改修設計、など現行法に適合するまでの苦労話など、当時の資料を踏まえ、具体的に説明していただきました。工事施工者の立場として垣内様からは

工事工程の煩雑さ、太陽の塔内部の仮設計画の難しさ、また現場内が工事の特異性もあり同じベクトルに向かって団結して工事が進んだ様子など説明していただきました。

3D測量による点群データの有用性(太陽の塔内部にある複雑な形状をした生命の樹、他展示物との干渉確認に使用されたこと等)や、EXPO'70のプロジェクトが50年後、新たなプロジェクトとして再生したことなど様々な角度から今後の建築活動に大変役立つ講演会でした。



松田大佑(社会貢献部門地域まちづくり委員会大阪市南地域)



Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離間距離確保等の新型コロナウイルス感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

本年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

大阪府知事指定講習

2021年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》

12/8・2/17 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①12月8日(水)

②令和4年2月17日(木)

時間 10:00～15:50

会場 大阪府建築健康会館6階ホール

最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車

定員 各40名(定員になり次第締切)

受講料 会員5,000円 会員外9,000円

テキスト代 7,300円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込み願います。その際振込手数料もご負担願います。

令和3年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)

11/10、1/27、2/18、3/9

CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひ受講ください。

日程 11/10(水)

令和4年1/27(木)、2/18(金)、3/9(水)

時間 8:55～17:00

会場 本会会議室

定員 各回20名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

令和3年度建築士定期講習

3/7、3/24 CPD各6単位

10/27、11/19、12/16 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

3/7(月) 大阪国際会議場10階 200名

※3/24(木) 大阪国際会議場10階 200名

時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。

(平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築士会又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局

※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>

(注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

▼「WEB動画配信」による講習会

各自都合のよい時間にWEB動画により受講いただき、修了考査のみ会場に来ていただく形式となります。

修了考査日程・会場・定員

10/27(水)大阪府建築士事務所協会

1日3回16名ずつ

11/19(金)大阪府建築士会 1日3回20名ずつ

12/16(木)大阪府建築士事務所協会

1日3回16名ずつ

受講料 12,980円(消費税含。事前振込)

申込方法

建築技術教育普及センターHPからWEB申込

<https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/>

(注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習11/25 CPD5単位

更新講習12/22、2/15 CPD各2単位

オンライン更新講習 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士の方に認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2018年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。オンライン講習も開催します。

▼新規講習(DVD講習)

日時 11/25(木) 9:30～17:00

会場 本会会議室

定員 20名(定員に達し次第締切)

受講料 郵送申込22,000円

WEB申込21,450円

▼更新講習(DVD講習)

日時 12/22(水)、2/15(火)

13:30～16:50

会場 本会会議室

定員 各20名(定員に達し次第締切)

受講料 郵送申込17,600円

WEB申込17,000円

▼オンライン更新講習

日程 11月前期:11/1(月)～11/15(月)

申込締切10/18(月)

12月前期:12/1(水)～12/15(水)

申込締切11/17(水)

1月後期:1/16(日)～1/31(月)

申込締切1月2日(日)

2月前期:2/1(火)～2/15(火)

申込締切1月18日(火)

2月後期:2/16(水)～2/28(月)

申込締切2月2日(水)

定員 各200名

受講料 WEB申込みのみ17,000円

※受講に必要なパソコンの動作環境の詳細は、日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

▼申込

日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

はじめよう、文化財の活用

10/24、11/28、12/4、1/22、2/19(全5回)

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、建物見学やワークショップ、周辺のまち歩きを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通じて文化財を保存する力、いわゆる「文活BUN・KATSU」を学ぶ講座です。

第1回
鎌倉時代から続く小谷家で楽しむ和菓子

作り

江戸時代に建築された主屋の奥座敷で、季節を表現する和菓子を作ります。

日時 10月24(日) 13:30～16:30

会場 小谷城郷土館(国登録有形文化財)堺市南区豊田1602

講師 出口勝正(菓子処ふる里店長)

第2回

「銭湯×JAZZ」

かつてダンスホールとしても親しまれてきた源ヶ橋温泉。JAZZの名曲やリクエスト曲の生演奏で歴史を辿りながらオシャレな時間を過ごしてみませんか。

日時 11月28日(日) 13:30～16:30

会場 源ヶ橋温泉(国登録有形文化財)大阪生野区林寺1丁目5-33

講師 茶之木一世

(ピアニスト、作曲家、編曲家)

第3回

「森のねんどのまちづくり」

古民家で大人も子供も楽しめる吉野杉の木屑を使った「森のねんど」で自分だけの小さな世界をつくってみませんか。

日時 12月4日(土) 13:30～16:30

会場 吉村家住宅(国登録有形文化財)貝塚市西町12-7

講師 岡本通泰(人形作家)

定員 各回24名程度(定員に達し次第締切)

受講料 各回1,500円

申込方法

必要事項(名前、住所、メールアドレス、携帯番号、同伴者の名前)を heritage@aba-osakafu.or.jpへメール又は06-6943-7103へFAX。後日、参加証のメール等予定。(集会場所など記載)

各回詳細及び第4回第5回については「大阪文化財ナビ」をご覧ください。

令和3年度地域文化財総合活用推進事業 入門!! 講談で楽しむ大阪の豪商物語「淀屋」と「鴻池」

10/28(淀屋)・10/29(鴻池)

「講談師 見てきたような 嘘をいい」と言われますので史実とは違った物語を体験いただけるかもしれません。重要文化財の中之島図書館で講談の「淀屋」、「鴻池」をお楽しみください。

●10月28日(木)

14:30～16:00(受付14:00)

講談の説明、基本(修羅場読み実演)、講談ワークショップ 講談「淀屋の屏風」

●10月29日(金)

18:00～19:30(受付17:30)

講談の説明、基本(修羅場読み実演)、講談ワークショップ 講談「鴻池の由来」

出演 玉田玉秀齋 玉田玉山

参加費 各1,500円(要予約)

会場 大阪府立中之島図書館本館3階

多目的スペース2

申込方法

必要事項(名前、住所、メールアドレス、携帯番号、同伴者の名前)を heritage@aba-osakafu.or.jpへメール又は06-6943-7103へFAX。

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

第64回大阪建築コンクール 受賞者講演会&トークセッション 10/29 CPD2単位(予定)

大阪建築コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。第64回を迎えた今回、大阪府知事賞および渡辺節賞の受賞者による講演会を企画いたしました。

受賞作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。また、審査委員とのトークセッションやパネル等の展示も行います。

日時 10月29日(金) 18:30~20:30

会場 大阪府建築健康会館6Fホール

大阪市中央区和泉町2-1-11

最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車

参加費 無料(申込不要)

詳しくは本号同封のチラシをご覧ください。

東日本大震災から10年

災害時に、あなたが行く社会貢献活動のために!

10/30 CPD6単位

午前中には東日本大震災から10年となる節目に「東日本大震災からの復興」と題して、室崎益輝氏から基調講演をしていただき、午後からは本会が行っている防災活動・教育訓練等の内容、社会貢献部門の各委員会が行ってきた防災活動事例についてご紹介いたします。

本講習会を受講することで、災害時に建築士ができる社会貢献活動の詳細を知っていただき、今後の災害時にあなたが行う活動に活かしてください。

日時 10月30日(土) 9:50~16:30

会場 大阪建築健康会館 6階ホール

定員 70名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,000円

後援団体会員3,500円

一般4,000円

「Home IoTの現在」

11/24 CPD2単位(予定)

IoTとは、インターネット通信によりスマホやPCなどの機器からモノ(Things)を制御する技術のことです。家電や住宅設備などにIoT技術やAI(人工知能)が取り込まれることで新しい住宅やサービスが生まれつつあります。

今回は住宅用のIoT技術の現状やどのようなことが可能なのかをご紹介します。と思います。

日時 11月24日(水) 18:00~19:30

会場 本会東会議室

定員 30名

参加費 会員1,000円 会員外2,000円

講師 石貫方子(パナソニック株式会社)

※後日、セミナー内容を有料配信予定!

準備が整い次第、改めてご案内します!

行政からのお知らせ

令和3年4月より石綿(アスベスト)の規制が段階的に強化

令和2年6月に、建築物等の解体等工事における石綿(アスベスト)の排出抑制を図るため、「大気汚染防止法の一部を改正する法律」が公布されました。主な改正事項としては、規制対象がすべての石綿含有建材に拡大され、また、作業基準遵守の徹底を目的とする直接罰が新たに創設されるなど、アスベスト対策を一層強化する内容となっています。

詳しくは、大阪市のHPをご覧ください。

HP [【大阪市 大気汚染防止法の改正について】\(検索\)](#)

問合せ 大阪市環境局環境管理部環境管理課
環境保全対策グループ

Tel.06-6615-7923

その他のお知らせ

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会

10/21、12/16、2/15 CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。判定士の資格をお持ちでない方はぜひ本講習会を修了され、判定士へのご登録をお願いいたします。

日程 10/21(木)、12/16(木)、2/15(火)
時間 受付12:30~ 講習13:15~17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 各40~80名(新型コロナウイルス感染防止対策のため調整します)

受講資格 大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
※本講習会は応急危険度判定士に登録される方を対象としています。

受講料 無料

テキスト代 税込み1,600円(特別価格)

申込・問合せ 一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部

Tel.06-6942-0190

建築レクチュアシリーズ217

10/15

大阪を拠点に活動を行う2人の建築家・芦澤竜一氏と平沼孝啓氏が1組のゲスト建築家をお呼びして、年に7回開催する建築レクチュアシリーズ。作家思考性を探ると共に、より本音で刺激的なトークセッションを行います。今回のゲストスピーカーは藤本杜介氏

です。

日時 10月15日(金) 19:00~20:30

(開場18:00)

ゲストスピーカー 藤本杜介

会場 グランフロント大阪北館4階

ナレッジキャピタル ナレッジシアター

大阪市北区大深町3-1

入場料 1,000円

定員 190名

申込 ウェブサイトより要申込

<https://217.aaf.ac>

問合せ (NPO法人)アートアンドアーキテクト
フェスタ

E-mail info@aaf.ac

地盤工学会関西支部第12回若手セミナー

11/11

地盤工学会関西支部では、オンラインと対面による「若手セミナー」を企画し、若手技術者の「基礎知識の習得」・「技術継承」・「人脈形成」の場となるよう、双方向・多方向型の講義形式で今後に活かせる技術の習得および基礎知識の深度化につながるセミナーとして開催します。

第12回は、「私と地盤とのかかわり」を共通のテーマとして、発注者・設計者・施工者のそれぞれの立場における業務での試行錯誤や経験談について講演します。

主催 (公社)地盤工学会関西支部

日時 11月11日(木) 14:00~17:00

会場 ドーンセンター大会議室+Zoomミーティング(オンラインと対面の開催)

定員 先着100名

参加料 本会会員1,000円

会員外1,500円

講演 「兵庫県南部地震における震災被害調査で学んだこと」

講師 南荘 淳(川田工業(元阪神高速道路))

講演 「河川の氾濫危険度と堤防破壊のメカニズムについて」

講師 栗田秀明(樹建設技術研究所)

講演 「都市土木工事の苦勞あれこれ(営業線近接工事)」

講師 友廣康二(元榊大林組)

※講演資料は会場にて配布もしくはE-mailで参加者に事前に送ります。

申込締切 10月27日(水)

申込方法 地盤工学会関西支部HPより申込。
FAX、E-mailでも可。

申込・問合せ

(公社)地盤工学会関西支部

Tel.06-6946-0393 Fax.06-6946-0383

E-mail office@jgskb.jp

URL <http://www.jgskb.jp>

メトロポリタン美術館展「西洋絵画の500年」[大阪会場]

11/13~1/16

世界三大美術館のひとつで、創立150年の歴史を持つニューヨーク・メトロポリタン美術館。その西洋絵画コレクションから名品65点(うち46点は日本初公開)をまとめて紹

介するかつてない展覧会が大阪・東京で開催されます。

ラファエロ、ティツィアーノ、カラヴァッジョ、ジョルジュ・ド・ラ・トゥール、レンブラント、フェルメールから、マネ、モネ、ルノワール、ゴッホまで、誰もが知る画家たちの珠玉の名作で、ルネサンスから19世紀まで、西洋絵画史500年の流れをたどります。

会場 大阪市立美術館

大阪市天王寺区茶臼山町1-82

会期 11月13日(土)~1月16日(日)

事前予約制

休館日 月曜(1/10は開館)、12/30~1/3

問合せ 「メトロポリタン美術館展」広報事務局
(ウインドウ内)

Tel.03-6661-9446

我が町「堺」再認識

歴史的な文化景観まち歩き

11/14・3/27 各CPD3単位

世界文化遺産百舌鳥古墳群や堺環濠都市を専門家と歴史文化を学び、風景を発見し、景観写真撮影する歴史的な文化景観まち歩きを行います。

時間 13:00~16:00

参加費 各500円(青少年は無料15名まで)

定員 各30名(申込先着順)

日程 11月14日(日)・令和4年3月27日(日)

●11月14日(日)

申込期間 9月1日(水)~10月29日(金)

集合 13:00 大阪信用金庫七道支店
北広場前(時間厳守)

●令和4年3月27日(日)

申込期間 1月4日(火)~3月11日(金)

集合 13:00 中百舌鳥駅西側駅前広場(時間厳守)

申込・問合せ 堺ユネスコ協会

Tel.072-299-2323

造園家荒木芳邦生誕100年展

12/2~12/6

荒木造園設計の創業者で、世界各国に名だたる作品を残された造園家荒木芳邦氏の生誕100年を祝って、荒木芳邦生誕100年展を開催します。

期間 12月2日(木)~12月6日(月)

時間 11:00~18:00

会場 GULIGULI gallery

池田市鉢塚2-10-11

問合せ GULIGULI gallery

Tel.072-734-7603

会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等 損害賠償責任 に起因する	滅失・破損 あり	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能)	↑ 2013年度までの けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし			
	法令基準未達補償 2014年改定 ※補償対象外とすることも可能です。			
構造基準未達補償 2014年改定				オプション
建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定				オプション

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会
のホームページ

刊行物案内と保険制度
>「保険制度」のご案内

2020年度
けんばい 新規加入の方

設計・監理業務等のリスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

この案内は建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209

引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

建物状況調査業務に起因する 損害賠償請求に備えて

会員
限定

宅地建物取引業法の改正に伴う 既存住宅状況調査技術者 団体賠償責任保険制度

不測の事態への 賠償資力を確保するために

2018年4月1日より施行されました宅地建物取引業法の改正に伴い、既存住宅状況調査技術者が実施する建物状況調査業務に対応した「既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険制度」を創設いたしました。



加入資格 建築士会会員が経営・勤務または所属(注)する事務所であること

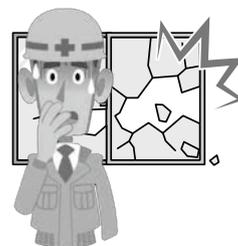
被保険者

- (1) 建築士会会員かつ、「既存住宅状況調査技術者」が経営または勤務・所属する事務所(記名被保険者)
- (2) 記名被保険者の役員および使用人
- (3) 記名被保険者に所属する「既存住宅状況調査技術者」
- (4) 記名被保険者の既存住宅状況調査業務を再委託で引き受けた建築士事務所
- (5) (4)の役員および使用人
- (6) (4)に所属する「既存住宅状況調査技術者」

(注) 所属とは、建築士が建築士法に基づく建築士事務所に属することをいいます。

保険金をお支払いする主な事故事例

- 買主からの依頼により建物状況調査業務を行った際、内壁の劣化は無いと判断したが、売買契約による売主の瑕疵担保責任期間経過後、または、既存住宅売買瑕疵保険等の適用期間経過後に、内壁の劣化が生じていたことが判明した。買主から、調査時に誤りなく内壁の劣化を見落とししていなければ、買主が負担する必要がなかったはずである修補費用相当額に対する損害賠償請求を受けた。
- 建物状況調査業務の検査中に誤って依頼主や通行人にケガを負わせてしまい、治療費等の損害賠償請求を受けた。
- 建物状況調査業務の検査中に誤って、住宅の窓ガラスを破損してしまい、修理費等の損害賠償請求を受けた。



この案内は「宅地建物取引業法の改正に伴う既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険制度(既存住宅状況調査業務特約条項等付帯専門的業務賠償責任保険)」の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「宅地建物取引業法の改正に伴う既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険制度」のパンフレットをご覧ください。詳細はパンフレットに記載の保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL: 03-3456-3273 FAX: 03-3456-2067
www.kenchikushikai.or.jp

〈お問い合わせ先〉

取扱代理店 **株式会社 エイアイシー**

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209

引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

吉村順三との最後の再会

ニューホープの家 一九三九年

文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

一九六一年、代表作となる群馬音楽センターが竣工した際、「アントニン・レーモンド作品集」と題する雑誌『建築』の特集号に、レーモンド事務所の特集号に、レーモンド事務所の草創期の番頭格として活躍した杉山雅則は、一九三〇年代の事務所の様子を振り返って、次のような回想を寄稿している。

「私たちは、レーモンド夫妻を中心に楽しい優れた作品を念願して、仕事をしていたが、事務所を銀座の教文館に移した頃より、日本の政治状態

南側から見た外観全景 二〇〇三年の現況



レーモンド夫妻と吉村順三 一九七五年



が厳しくなり、戦争気構えの様相を呈し、満洲事変になってからは所員に応召者を出すようになって、仕事の量も尠なくなり、退所したり、また心ならずも事務所と袂をわかつて出て行く人もあるようになった。一九三七年レーモンド親子三人を歐洲への旅行へ見送った当時の私は、東京女子大の講堂とチャペルの完成に専念していたが、寂しさに耐えられない思いだった。」(杉山雅則「私の思い出」一九六一年十月号)

この連載で紹介した杉山と吉村順三が仲良く並ぶ東京女子大の写真は、このような心境の中で撮影されていたのである。また、文中の「袂をわかつて出て行く人」とは、おそらく一九三五年に独立した前川國男らを指している。そして、この後、「寂しさ」を抱える杉山と吉村を残したまま、レーモンド一家は、歐洲からそのままアメリカへ帰国してしまうのだ。彼らが、新たな根拠地に選んだのは、アメリカ東海岸の古都フィラデルフィア郊外のニューホープの農場だった。一九三九年三月、クエーカー教徒が切り拓いた二五〇エーカーの農地を購入し、主屋(一七二八年)を増築して、アトリエ兼事務所としたのである。レーモンドは『自伝』(三沢浩訳・鹿島出版会一九七〇年)の中で、「農場も、すべての建物も、家も、非常にくたびれ果てた状態」だったが、「農地を生産的にするため、午前中に建築計画の仕事をやり、午後は農場で働いた」ことが、「実に楽しく、創作的な一日であった」と記している。文字通り、晴耕雨読の日々が始まっていく。そして、一九四〇年に、駐米日本大使から、ワシントンの国会図書館内に、日本関連資料を納める記念図書館の設計を依頼されたことから、遠く日本に残してきた吉村を呼び寄せたのである。

こうして、吉村は、一九四〇年春、単身アメリカへと渡り、到着後、すかさず、日本に残る杉山に、次のような手紙を書き送っている。

「五月二十七日、早朝ニューヨークに上陸しました。ミスターとミセスと両方が船まで来てくれて嬉しく対面をしました。それからニューヨーク市内(東京で云えば四ツ谷と云った感じのところ)で高いビルの間にはさまれた四階建の裏の中庭に面した古くさい室です。若い人が一人でミスターは週一・二度出かれます)にちよつとよつて、ニューホープに行きました。約六五哩位で自動車で二時間半位かかります(オヤジの運転で)但し五〇―六〇哩の速さで走ります。オヤジは杉山もドウシテモ should come と云っています。」

レーモンド夫妻が吉村を港まで出迎えた様子と、杉山も呼ぼうとしていたことが読み取れる。続く文面で、吉村は、次のように記している。

「ニューホープの生活は軽井沢の臭が少しありますがもつとずつとラフで土地は五万坪位で大きなものです。室のそうじ其の他すべて自分でやり屋根裏の室に他の二人のアーキテクトといつしよに寝て居ます。(中略)ニューヨークはとにかく人間の国ではなくて自動車の国見たいですべての規模が日本にくらべてとてつもなく大きくガリバーの物語の様な気がします。とりあえず又書きます。順」

この文面からも、質素なアトリエでの生活ぶりが見えてくる。それでも、日々の暮らしの中で心惹かれたのだろう。吉村の遺した資料には、当時、自ら撮影し、次のように回想したとおり、ニューヨークやニューホープの風景など、大量のカラースライドとスケッチブックが含まれている。

「ニューホープというところは、日本で言えば奈良みたいなところなんです(中略)そこにある民家が非常に美しいんですよ。いわゆるコロニアルですけどね。それから農家の牛小屋で上にまぐさを入れるバーン(納屋)が、

非常に特徴があって面白い建物なのです。それが本当に民家的で実用的な建物で、とても美しいんです。」(別冊新建築『日本現代建築家シリーズ⑦吉村順三』一九八三年)

だが、その暮しは、日米関係の急速な悪化から長くは続かず、吉村は、一九四一年七月、日本へ向かう最後の帰国船に乗るべく、わずか一年のニューホープ滞在を切り上げ、サンフランシスコへ移動し、竜田丸に乗船して日本に帰国する。日本に到着したのは、八月十七日のことだった。さて、時は過ぎ、太平洋戦争を挟んだ、その七年後の一九四八年十月、レーモンドは、焦土と化した東京へ再び戻り、翌年に、リーダーズ・ダイジェスト東京支社の建設現場で設計活動を再開する。その後、群馬音楽センター、南山大学などを手がけ、一九七〇年、『自伝』の発行と、銀座松坂屋の「アントニン・レーモンド展」開催により、戦前戦後の延四一年に及ぶ日本での設計活動に区切りをつけ、一九七三年六月、日本を去ってニューホープへ戻り、新たに建てたスタジオで暮らし始める。

そして、その二年後の一九七五年、ロックefeller邸の仕事で渡米した吉村は、所員の平尾寛と共に、予告なしにニューホープへ立ち寄る。ここに掲載する写真は、その時のスナップで、杉山の下に保管されていた。筆者は、この生前最後となった師弟の再会について、平尾氏からお聞きしたことがある。玄関先に現れたレーモンドは、吉村を見つけて「順三!」と叫び、抱きついたという。そんな記憶を刻んだニューホープの家は、今も、彼の遺族によって大切に守られ、静かな時を重ねている。

いちりん
ichirin



SANEI

SANEI 株式会社
www.sanei.ltd



キッチンからリビングの見晴らし



西面ファサード